



町の発展と安全な暮らしに貢献 春の叙勲受章

春の叙勲受章者が発表され、村上義廣さん（平国下）が旭日双光章、山口武久さん（内野）が瑞宝双光章を受章しました。村上さんは平成7年から令和5年の7期（28年）にわたり町議会議員として町政に貢献。山口さんは昭和56年から令和5年の42年にわたり町消防団に在籍し、住民の安心・安全な暮らしを支えてきました。



↑受章された村上さん（右）と山口さん（左）

↓優勝した西通郡チーム（長濱さんは前列の右から3人目）



全国大会2連覇を果たす 全国自衛隊バレーボール大会

6月7日(土)~9日(日)、朝霞駐屯地（東京都）で第48回全国自衛隊バレーボール大会が開かれ、本町出身の長濱弘晃さんが所属する西通郡チーム（熊本市）が昨年に続き2連覇を果たしました。長濱さんは今大会の MVP にも選出されており、「2連覇することができて安心しました。次は3連覇を目標に頑張ります」と話していました。

↓メンバーは「多くの人に牛乳を飲んでほしい」と話していました



父の日「牛乳を」消費拡大へPR 父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン

6月13日(日)、ホワイト酪農業協同組合から町へ牛乳が贈られました。父の日の「ちち」と牛乳の「ちち」の語呂を合わせた「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーンは、県産の牛乳や乳製品の消費拡大を目指して毎年行われています。酪農家の皆さんが搾ったおいしくて体にも良い牛乳をこの機会に飲まれてはいかがでしょうか。

新たに4体の達仏を修復 達仏修復メンテナンス

達仏の修復メンテナンスが6月に「みんなの森」で実施されました。達仏は平成29年に現代アーティストの西野達さんによって作られたもので、仏像が生木に直接彫られた作品。制作に携わった彫刻家の森英顕さんが33体の内4体を新たに彫り直しました。皆さんもぜひ新しい達仏を探しに訪れてみてはいかがでしょうか。



↑新しくなった4体の達仏

命を守るために 防災講話「もしものときに」

防災講話「もしものときに」が5月31日(金)、つなぎ文化センターで開かれました。講師の嶋幸雄さんは食料や飲料を多めに備蓄し、災害時に活用する「ローリングストック」や怪我をしたときの感染症を防ぐ対処法などを参加者に説明。「災害時は命を守ることが最優先です。いつまでもいいように普段から準備しておくことを心がけてください」と話していました。



↑普段からの準備の大切さを語る嶋さん

↓表彰を受けた石田さん（前列左）と婦人会の齊藤さえ子さん



安心・安全な地域づくりに貢献 水俣地区防犯協会連合会表彰

水俣地区防犯協会連合会表彰が5月29日(水)、水俣警察署で開かれ、功労者として石田ミサ子さん（桜戸）、功労団体として津奈木町婦人会が表彰を受けました。同会は会長の石田さんを中心に小中学生の登下校時の街頭補導活動などに積極的に参加。安心・安全な地域づくりや青少年の非行防止・健全育成に大きく貢献しています。

サントリーとペットボトル再生で協定 ペットボトルの水平リサイクルに関する協定締結式

6月5日(水)、水俣市・芦北町とサントリーグループが使用済みペットボトルを原料に新たなペットボトルを再生する「水平リサイクル」に向けた協定を結びました。同グループはこれまでに全国100以上の自治体と協定を結んでおり、2030年までにペットボトルの100%サステナブル化を目指しています。



↑協定を交わした常務執行役員の藤原正明さんと3自治体の首長



未来に豊かな海をつないでいく 海ごみゼロフェスティバル

6月1日(土)、干拓堤防で海ごみゼロフェスティバルが開かれ、B & G 海洋クラブの小・中学生とその保護者27人が参加しました。約1時間かけて海岸に漂着していたビニール袋やペットボトル、発泡スチロールなどのごみを回収。その後、B & G 体育館で水辺の安全教室を受け、レクリエーションを楽しみました。